

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



お正月の買物に子ども達と一緒に来て来ました(カンボジア孤児院)

皆様の尊いご支援、いつもありがとうございます。

4月16日に孤児院の理事会が行われます。このニュースレターが皆様のお手元に届くころには今すでに終了し、5月28日の孤児院総会に向けて準備がなされている頃と思います。

理事会の案ですので、まだ総会で承認は得ておりませんが、昨年の活動報告を聞いたたびに皆様の力強いご支援を思い浮かべ、毎回ただただ感謝するばかりです。と同時に、さらに現在の働きを推し進めていくにあたり、さらに多くの必要を感じさせられてもいます。

今現在ウクライナでの行われている事が、これからさらに大きくなり、世界に広がっていかないとは限りません。内容こそ異なりますが、さらに世界中で多くの子供たちが危険な状況になることも十分予想されます。

そのような子供たちを一人でも多く助けたい、そのような思いで私たち孤児院は活動しております。

それにはやはり、皆様のさらなるお力添えをお願いする他ないのが現状です。

皆様の尊いご支援は、確かに子供たち一人ひとりの命を、人生を支えています。

どうか、これからも皆様のご支援、ご協力よろしくお願いたします。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。今年は、政府から受けている活動の為の認可更新の年となっています。短期間でスムーズに更新が出来るようにと願っています。カンボジアは、4月中旬にお正月を迎えます(4/10現在)。学校は1週間～2週間のお正月休みがあり、スタッフ達も交代で休暇を取る予定です。今年はゆっくり里帰りして休みを取る人達が多いのではと思います。私達は、子ども達とスペシャルメニューを考えて楽しく美味しく過ごしたいと思っています。3月末頃、車と接触事故に遭遇して膝の辺りを4針縫ったVIは、傷の治りが驚くほど早く、4月初めにタイで行われたフットサルの試合に出るカンボジアの代表選手に選ばれて、私達はビックリしました。体を動かしていないと調子が悪いと言っては、高校卒業後から社会人サッカーチームに時々参加しているのは知っていましたが、このような経験が出来るこれからの歩みの上にも良い影響となるようにと願っています。未だ続くコロナ禍の中で、皆様からの継続した子ども達の自立の為のご支援を心から感謝申し上げます。



暑いので、みんなでかき氷を食べてます!

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアではコロナも落ち着いてきて、学校も1月から1度も閉鎖される事なく無事に1学期を終える事ができました!孤児たちの多くは、家庭の中で起きている様々な問題によって深刻なトラウマを負っている事が多く、それが問題行動となって学校内で現されてきています。その様な子ども達をどのように支援していくかが課題となっていました。また、そのケアと解決のためには、子どものみならず、保護者も含めた、家庭の安定を目指す取り組みが必要と痛感していた中で、昨年、カウンセラーの資格取得に送り出したスタッフが、無事に資格取得に至り、今後そのような働きを進めていくために準備を進めているところです。中高等学校建設の準備も始まっているところですが、残念な事に、車両の故障が続き、自由に動く事ができない状況にあります。中古で購入させて頂いたものですが、そろそろ買い替えが必要となっています。ガタガタ道を通るために、四駆の購入(200～250万円)を希望しています。どうぞ皆様の更なるご支援をよろしくお願い致します。



修理が重なる車輛

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。子どもたちは今学期3回目のテストに向けて準備しています。3月28日までに保護者が同意した子どものみ、学校での対面授業に出席しています。都心部から離れたスモーキーマウンテンの子どもたちに関しては、感染のリスクがひくいたので、対面授業参加に同意しました。その他の子どもたちは引き続き、オンラインとモジュールの授業を受けています。ただ、高校生は短い期間(1日30分)の補習授業のみ、感染防止対策を取りつつ、学校で授業を受け、苦手な教科や遅れている教科に関して先生の指導を受けました。2021年度の授業は5月末までの予定です。今年度は4名の就学支援生が高校を卒業します。卒業式の日程や、2022年度の授業開始及び授業体制についてはまだ何も決まっていません。引き続き、フィリピンの子どもたちのために、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

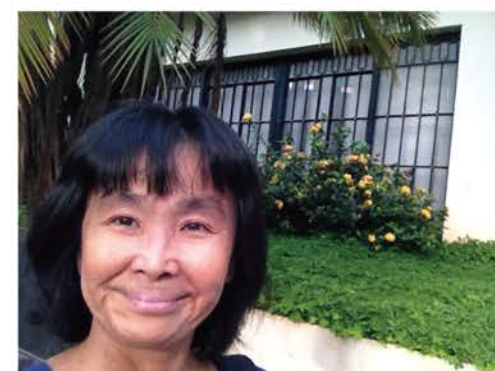


高校生は感染防止対策を取りつつ補習授業を受けました。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。3月17日にブラジルに帰って来ました。いつもは帰るなり熱が出たり体調を崩すのですが、コロナで気をつけているせいか、この頃は長旅でも熱も出ず、守られています。やっとワクチンを2回終了できたので、ブラジルの政府系医療機関に、無料の健康診断の予約に行ってきた。色々な手違いがあったようで、病院を3往復してやっと受け付けてもらえ、22日に予約を入れました。以前知り合った看護師さんの経営する老人ホームが医療機関のすぐ隣にあります。彼女のご友人で同じく看護師の方が経営を手伝っておられて、その看護師の方と会えました。ちょうど朝出かけるところに出くわして、ご挨拶できました。彼女たちはG君という男の子を里親制度で引き取って、2歳の頃から育てておられます。G君が学校に行く時間で、車で送りに行くところ、車庫から車を出した時に通りかかりました。5～6年たってすっかり大きくなっていました。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



健康診断の予約に行ってきました